おかやまコープ くらしをつくる Vol⑳

生活協同組合おかやまコープ（岡山市北区奉還町）は、ふだんのくらしに役立つ宅配、店舗、共済、福祉の事業を通して組合員と地域の願いに応え、私たちの暮らす地域の諸問題の解決に向けてさまざまな取り組みをしています。このうち「宅配」は毎週1回、決まった曜日に注文された商品をお届けします。「コープ共済」は、くらしに必要な保障を手ごろな掛け金で実現できる、組合員同士の〝助け合いの心〟から生まれた生協ならではの共済です。

7月の西日本豪雨では、地域に張り巡らした配送ルートとネットワークを生かして、被災地の組合員の安否を確認したり、商品を届けたりすることができました。ふだんのくらしを支える、同コープの役割がますます注目されています。

がんばろう岡山
おかやまコープ

ふだんのくらしを支える

宅配

毎週1回の宅配を楽しみにしている平山さん（右）。配送担当者と会話が弾む

「平山さん、シイタケが届きましたよ！」「ほんと、ありがとう」―。毎週木曜日、おかやまコープの宅配を心待ちにしている平山昭枝さん（74）＝岡山市東区南古都。配送担当者との何げない会話も楽しみの一つです。長年、宅配を利用している平山さんにその魅力を聞いてみました。

安全・安心な食品を

「子どもたちに安全・安心な食品を食べさせたい」と、平山さんがコープの宅配を利用し始めたのは、3男1女の子育て真っ最中だった43年前。「合成着色料などを使用しない無添加がいいし、お肉は国産がいい」。素材にも味にもこだわる平山さんは、これまで商品の開発・改善に向けた意見交換会や産地見学会にも参加してきました。「毎日欠かせない牛乳・卵は、コープなら生産者の顔が見えるから安心。卵は黄身がぷりっとしておいしいですよ」

多彩な商品が魅力

宅配で購入できる商品は肉・野菜などの生鮮品から、総菜、冷凍食品、日用雑貨まで毎週2千～4千品目。注文した商品と一緒に届くカタログは見ていて飽きることがありません。

そんな平山さんの〝生協のあるくらし〟が途絶えそうになったのが7月の西日本豪雨の時でした。自宅が被災し、宅配の利用を中断していましたが、お見舞いに訪れた、なじみのコープ職員から「週1回、カタログを見るだけでも気分が晴れるのでは」と勧められ、利用を再開しました。

玄関先までお届け

宅配は玄関先まで商品を届けてくれるのも特長です。平山さんは「車も水没して、猛暑の中を買い物に行くのが大変だったから、玄関先まで商品を配達してくれる宅配が本当に助かります。今は総菜や瓶詰などすぐ食べられるものを注文していますが、料理が好きだから、料理ができる状況になったら、またいろいろ買いたい」。食材がずらりと並ぶカタログを広げ、「次は何をつくろうか」と思いをめぐらします。

コミュニケーションの場

平山さんにとって、宅配は担当者やご近所さんとのコミュニケーションの場にもなってきました。社交的で愛育委員も務める平山さんは、高齢の組合員の商品を預かって自宅まで届けることもありました。

またコープの宅配は担当者と組合員が顔を毎週合わせるため、自然とつながりが深まります。「担当が長くなると、お互い家族の趣味も把握していたりして、自分の娘みたい。気心の知れた担当者が毎週来てくれるのは安心です」。おかやまコープの宅配は、平山さんがふだんの生活を取り戻す一助になっているようです。

多彩な商品がそろったカタログを広げる平山さん

週1回、担当者が伺います

宅配事業は地域にきめ細かい配送ルートが築かれ、週1回、決まった曜日に担当者が商品をお届けすることが組合員の安心感につながっています。西日本豪雨の際は、「被災されている組合員さんのご無事を確認し、何とか商品を届けたい」という強い思いで、発災直後から被災地へ、注文されていた商品を配達し、安否確認も続けました。土砂崩れや浸水で通行止めになった所もありましたが、代替ルートを探して配達を継続。岡山市では道路が陥没して孤立した地区があり、担当者らが背負子（しょいこ）で商品を担ぎ、山道を歩いて組合員宅まで届けました＝写真。

助け合いの心で支える

コープ共済

「助け合いたい」の想いをカタチにした保障

コープ共済（CO・OP共済）は「組合員同士、困った時は助け合いたい」という想いをカタチにした、全国の生協が結集する商品。ふだんから組合員みんなで少しずつお金（掛け金）を出し合い、万が一のことがあったときに、集まったお金の中から一定額を出して助け合います。組合員の声に耳を傾け、その願いをかなえることでお役立ちを広げてきた共済です。

加入者の輪が広がり保障内容がより良く

1984年のコープ共済《たすけあい》スタート時13万人だった加入者数は、852万人（2017年末）に広がっています。加入者を増やし、助け合いの輪を広げることで、保障内容を充実してきました。加入条件のゆるやかなコースや組合員ニーズが高い先進医療特約、高齢者保障を充実させた《プラチナ85》などのコースを新設。また、組合員の声に応え、保障内容を良くすることで、生まれてから高齢期まで幅広い年齢の方にお役立ちすることができています。

お支払いを通した「お役立ち」が使命

いざという時お役に立ってこそ、コープ共済は役割を果たすことができます。そのため、ふだんから職員が加入者に直接、またはダイレクトメールを送って「共済金の請求忘れはありませんか？」と積極的に声かけをしています。

また、「もっと気軽に請求できたらいいのに…」といった加入者の声に応え、一定の条件を満たす場合は、診断書の代わりに領収書などのコピーで代用できるよう手続きが簡素化されています。

昨年度寄せられた約19万件の声のうち、半数の約9万件が「ありがとう」の声。これは、共済金支払いの早さや請求受付時の丁寧な対応の結果といえます。

コープ共済のお見舞い訪問を受ける百本さん（左）。「生協のつながりは心強い」と話す

被災者に寄り添うお見舞い訪問

コープ共済には、医療や生命保障のほかに、地震、洪水など自然災害によって、住宅が一定程度以上被害があった際、お見舞い金が支払われる場合があります。（一部コース、商品によって対象外となります）

今年7月の西日本豪雨で、おかやまコープはコープ共済加入者へのお見舞い訪問活動を同月23日から実施しました。対象は広域にわたり、被害の大きかった岡山、倉敷、笠岡、総社、高梁市、矢掛町の約2400軒に上りましたが、「少しでも早くお役に立ちたい」と、職員が手分けをして1カ月かけて1軒1軒訪ね、共済金・お見舞い金の請求について案内しました。

「人と人のつながりを支えてくれている」

「当たり前の生活が一変した中、忘れられずに手を差し伸べてもらえるのは、金額以上に心の大きな支え」。そう話すのは倉敷市真備町の団体職員・百本恵子さん（58）。洪水により、自宅1階が天井付近まで浸水し、家族4人が2階での生活を余儀なくされています。思いがけない職員の訪問を受け、「人と人のつながりを支えてくれている」とコープとコープ共済の役割をあらためて実感したそうです。

お見舞い訪問を続けた同コープ仲間づくり・共済推進グループの安川篤子さんは「組合員さんから『暑い中、ありがとう』『頑張って』と逆に励まされて。皆さんが明るく前を向く姿に力をいただきました。これからもずっと組合員さんの生活に寄り添っていきたい」と話しています。

ありがとうの声が届いています

コープ共済《たすけあい》加入の組合員から

気持ちに余裕をもてました

息子がお世話になっています。現在子ども医療費の助成を受けているので、通院費は実質ゼロで金銭的負担もないですが、通院日数が長くなったり、コルセット等を装着している間のお世話は大変でした。CO・OP共済のお陰で気持ちに余裕を持っていられました。ありがとうございました。

《たすけあい》J1000円コース ケガ通院

支払いがスピーディでびっくり

病気があり大きな生命保障には入れませんが、《たすけあい》には入れケガや入院などでたびたびお世話になっています。いつも簡単な手続きでスピーディな支払いにびっくりしています。

《たすけあい》V1000円コース ケガ通院

請求忘れが分かり、ありがたい

二人目ができて、ご訪問いただいた時に、一人目の話をしていると、「お忘れの請求はないですか？」と、聞いていただいたので、該当するか分からなかったのでそのままになっていた入院のことを話して…請求できたのでありがたかったです。

《たすけあい》J1000円コース 病気入院

※お支払い内容や共済金請求書類はご契約内容・ご請求内容によって異なります。

コープ共済にご加入の皆さまへ

共済金の請求忘れはありませんか？

請求は3年以内までOK!

コープ共済金は、病気やケガなどの共済事由が起きてから3年以内ならご請求いただけます。

自己負担がなくても請求できます

治療費の自己負担がなくても請求できる場合があります。（2018年9月現在の基準です）

資料請求・ご加入に関するお問い合わせは
おかやまコープ コープ共済センター
0120-752-557
（月～土曜　9:00～18:00）

西日本豪雨で被災された皆さまへ

このたびの西日本豪雨により、入院・ケガ通院、また住宅や家財に被害があった場合、共済金・お見舞い金の対象になる場合があります。

まずは左記までお問い合わせください。（契約内容によっては保障がない場合もあります）

お問い合わせ先

《たすけあい》《あいぷらす》《ずっとあい》
西日本豪雨フリーダイヤル
（コープ共済センター）
0120-089-431
（月～土曜 9:00～18:00）

《火災共済》
CO・OP火災共済コールセンター
0120-603-143
（月～土曜 9:00～18:00）

企画・制作／山陽新聞社広告本部

みんなで行こう！

コープフェスタ2018

入場無料
※どなたでもご来場いただけます。

お子さんが楽しめるコーナーもたくさん用意しています。ぜひ家族でお越しください。

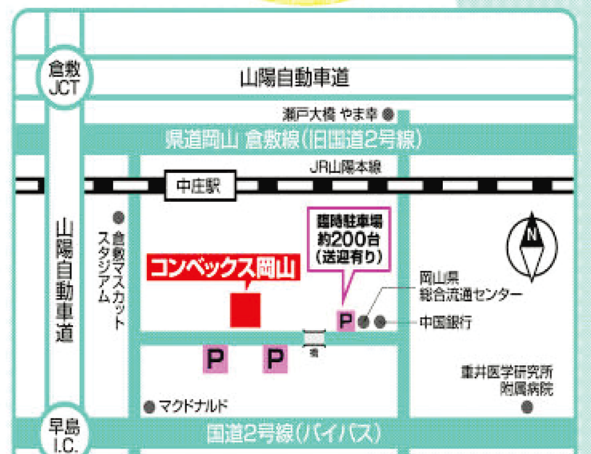
来場者の皆さんと生産者やメーカー、組合員、職員が交流できる食を中心としたイベントです。
約130社のお取引先が参加、お買い得商品が満載です!!

9月22日㊏10:00～14:30
～おかやま食育推進協賛事業～

コンベックス岡山［大展示場・中展示場］

岡山市北区大内田675　TEL.086-292-6111

©2012CO・OP共済コーすけ



無料駐車場1,500台完備
臨時駐車場から無料送迎タクシーあり!!

がんばろう岡山
おかやまコープ

西日本豪雨で被害にあわれた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。
おかやまコープは、被災された方に寄り添い、
一日も早い復旧・復興に向けて支援を続けてまいります。

おかやまコープ 生協 の個配をぜひご利用ください

特別割引
個配手数料 半年間 無料
通常月額個配手数料 800円（税別）

こはい 個配って？　おかやまコープの多彩な商品を**週に一度玄関先等までお届け**します。

お留守でも専用の冷凍・冷蔵箱をご用意します

対象となられる方　2018年7月に発生した西日本豪雨災害で、被災された方、床上浸水以上・土砂災害などの罹災証明書をお持ちの方、もしくは対象となられる方。岡山県内であれば
ご自宅・避難先・引越先等でご利用いただけます。※玉野市を除く

おかやまコープを
これから利用する方も
すでにご利用中の方も
みなさまご利用ください。お申し込みが必要です。

詳しくは、おかやまコープの担当者、または下記の問合せセンターへお問い合わせください。

『食』は元気の源

倉敷市真備町の土師ひろみさんは平屋の自宅が浸かり、家族5人で避難生活を送っています。

自宅の片付け作業中におかやまコープ職員のお見舞い訪問を受け、感激し即座に個別配達を再開しました。

土師さんは「被災してから朝、昼は市から提供されるパンや弁当、夜はカップめんばかり。野菜が足りず栄養面で不安だったので、カタログを見てさまざまな商品があることにほっとしました。特に『食』は元気が出る源ですから」と話します。

生活協同組合おかやまコープ
問合せセンター
番号をよくお確かめの上、お間違えのないようにお願い申し上げます。
0120-662-538
受付時間／月～金曜8:30～21:00 土曜8:30～18:00

お申し込み・お問合せは、お電話またはインターネットから!
おかやまコープ 宅配　検索
http://okayama.coop/
携帯、スマホからはこちら